



水質浄化で魚が住める川に 葛巻町

— 農業集落排水事業の実施による水質保全効果 —

盛岡地方振興局土木部山根主任主査による葛巻町レポート

葛巻町では、平成7年から平成13年にかけて農業集落排水事業を町中心街の2地区で実施した結果、この地域の水質が向上している状況にあります。

しかしながら、平成17年度末の町の污水处理人口普及状況は、人口8,371人に対し、農業集落排水事業2地区と浄化槽事業とを合わせ、3,472人と41.5%となっており、盛岡地方振興局管内平均の81.5%、県平均の64.5%を大きく下まわっています。

この度、昭和23年生まれの葛巻中学校卒業生有志25人が、水質浄化の事業実施効果のPRを行い、農業集落排水事業が引き続き実施されるようにと、また、役場、病院、老人ホーム等を訪れる方々への“やすらぎ”を与えたいということで、役場前の排水路である田の沢川に、鉄製カゴ（全長450cm）の船型水槽を設置し、稚魚（ニジマス、コイ、金魚、ヤマメ等）を観賞用として育成する取り組みを始めました。町畜産開発公社の「モウモウ助成金事業」を活用し、本年度から2カ年の予定で総額12万5千円（うち助成額10万円）の事業費で、活動をスタートさせたものです。

今年度は、水槽を布設した日が9月6日と時期的に遅かったことから、実験的に1基を設置し、来年度は水槽の数を3～4基に増やしていき、その後も継続して活動する予定となっています。ちなみに、今回は水槽の中にイワナ30匹とコイ10匹が放されましたが、立て札には、「おさかながすめる川かな？」とか「水の清流化観察実験」の文言が表示され、地域住民の方々に水環境への配慮を呼びかけています。

農業集落排水事業が、農業用排水の水質保全や用水路や排水路の機能維持、水洗トイレ設置による農村生活環境の改善効果のみならず、住民の手によって今回の田の沢川のような身近な川の水質保全効果もあることが実証されました。

葛巻町は“いわて污水適正処理ビジョン2004”の実施計画により、平成22年度の污水处理人口普及目標率を56.5%に設定し、地域をはじめ関係機関と協力しながら污水处理事業を進めているところです。



船型水槽と注意喚起の立て札



水槽に放たれた稚魚